

RSウイルスとは

大人がかかっても軽い鼻風邪程度で済みますが、乳幼児や高齢者にうつると肺炎などを引き起こし命の危険になりうるウイルスです。ほぼ100%の方が2歳までに感染しますが、感染力が強いので何度も繰り返し感染するのが特徴です。特に免疫のない乳幼児が感染すると肺炎など重症化を起こす危険があり、呼吸不全に陥って一時的に人工呼吸器の使用が必要になる場合もあります。また高齢者の場合にはRSウイルスが気道のバリア機能を破壊し、肺炎球菌などの2次感染を引き起こして重症化し最悪の場合、死に至る可能性もあります。

例年RSウイルスは冬に流行するウイルスですが、昨年夏頃から感染者が増え始めここ10年間で過去最多を記録しているおり、これからこれからより一層感染が拡大する危険があります。